

平成 16 年度ホタテガイ採苗情報 (第 6 報)

平成 16 年 5 月 21 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝数が増加しています。」

1 ラーバの出現状況

5月18日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200 μ m未満が78個/トン、200 μ m以上が130個/トンと、前回調査時(合計24個/トン)より大幅に増加しました。

なお、調査時の水深10m層の水温は10.0 $^{\circ}$ Cと、前回調査時より0.8 $^{\circ}$ C上昇し、平成9~15年の平均値とほぼ同じ値となっています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

5月17日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区の各定点で付着稚貝が確認されました。

付着数は41~2,659個/袋と、全ての定点で増加しています。特に、宮古地区から大船渡地区の白浜までの定点では600個/袋以上と、大幅に増加しています。

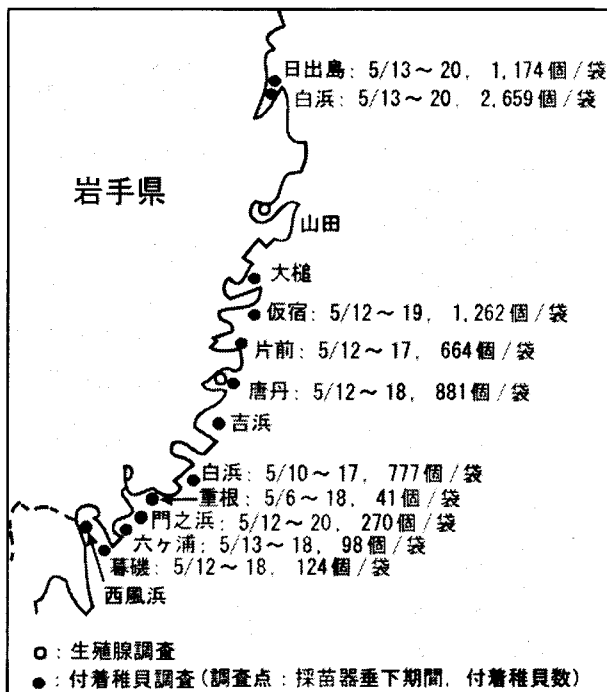


図 調査点と付着稚貝調査結果

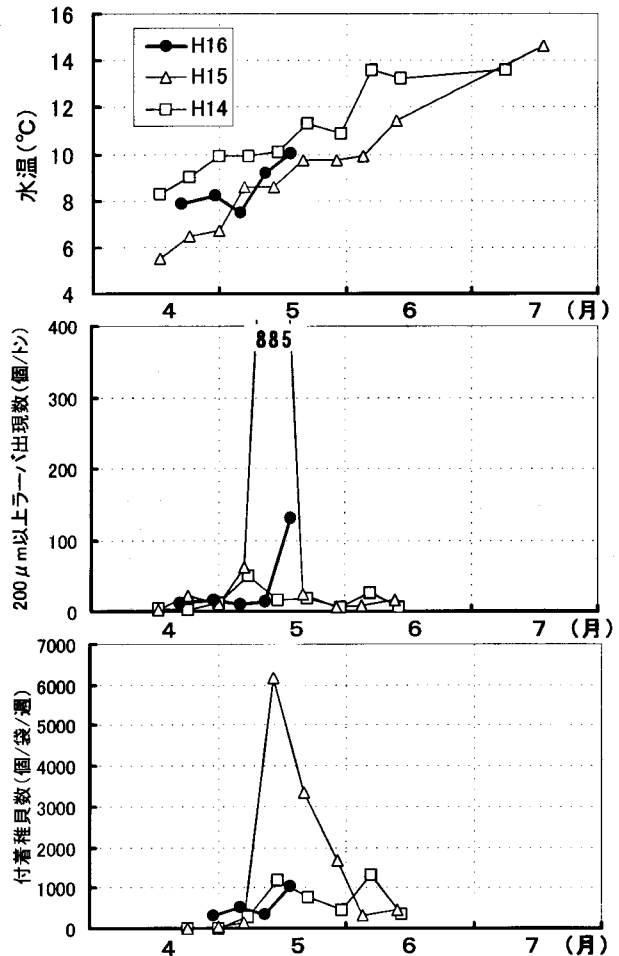


図 唐丹湾における水深10m層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

なお、唐丹湾では、付着稚貝の約6割が付着直後の個体でした。

県中南部では、付着間近の大型のラーバと付着稚貝が多数確認されています。しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

次報は、5月28日頃発行する予定です。